

給食だより



南部学校給食センター
令和8年1月

新しい年を迎えました。1月は年の初めです。お正月に始まり、七草、鏡開き、小正月など、1年間を健康に暮らせるようにとの願いを込めた行事がたくさん行われます。また24日から30日までは「全国学校給食週間」です。戦後、国内外の多くの善意や期待を寄せられて再開された学校給食の意義を考え、その一層の充実を期する1週間となります。またこの期間を通し、あらためて食べ物の大切さや作る人の思いを知り、感謝の気持ちをもって食事をするようになってください。



感謝して食べよう

— 1月24日～30日は「全国学校給食週間」です —

みなさんのもとに給食がとどくまでに、たくさんの方がかかわっています

● 田んぼや畑、海や牧場で働く人



米や野菜を作ったり、魚をとったり、牛や豚、にわとりを育ててくれます。

● 食べ物を運ぶ人



食べ物をとれた場所からみんなの町へ、また給食センターから学校まで運んでくれる運転手さん。

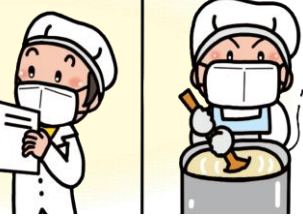
● お店の人



よい食材を選んで売ったり、注文に応じて朝、学校まで運んでくれます。

● 給食をつくる人

献立を考える栄養教諭(学校栄養職員)の先生や、給食をつくる調理員さん。



● 準備をする人

給食当番さん



1月のさまざまな行事と行事食

1月は「睦月」といいます。親戚や友人が互いに行き交い「仲睦まじくする」ことから名付けられました。新年の幸せを願うさまざまな行事があり、行事食がとても身近に感じられる月です。

おせち料理



お正月を迎えるための華やかな料理です。それぞれの料理に願いが込められています。

お雑煮



もちに具をあしらったお正月の祝いの汁物。いろいろな作り方があります。

七草がゆ(1月7日)



「春の七草」を刻んだおかゆを食べ、胃を休め、1年間の健康を祈ります。

鏡開き



お正月のもちを下げ、お汁粉や雑煮にします。昔は鏡もちを食べ、歯の健康と長生きを祈る「歯固め」の行事もありました。

成人の日



新しく大人の仲間入りをした新成人を祝いはげます日です。小学校では、「1/2成人式」を行うところもあります。

小正月



その年の豊作を願う行事やお正月の飾りや書き初めを焼くどんど焼きなどが行われます。小豆がゆがよく食べられます。

リクエスト給食アンケート調査結果

今年も3月で卒業する中学3年生を対象に、もう一度食べておきたい給食についてのアンケート調査を実施しました。その結果をお知らせしたいと思います!!

人気のあったメニューは12月から3月の給食に取り入れ、献立名に★マークをつけて表示しています。



	主食	温食	副食	デザート				
1位	ココア揚げパン	132	ピリ辛フォー	73	チキンなんばん	65	焼きプリンタルト	152
2位	きなこ揚げパン	73	肉じゃが	43	チーズポテト	62	フルーツポンチ	59
3位	焼肉丼	48	ABCスープ	41	とりのからあげ	56	チョコケーキ	40
4位	わかめごはん	45	カレーうどん	31	春巻	55	クレープ	28
5位	鶏飯	33	わかめうどん	30	オーロラチキン	46	みかん	21
6位	白ごはん	31	ラーメン	27	みたらし里芋	23	ボンデ・ドーナツ	20
7位	びんば丼	29	パンネ	26	きゅうりの酢の物	22	シュークリーム	20
8位	三色そばろ丼	16	クリームシチュー	22	甘夏サラダ	20	大学いも	19
9位	豚バラ丼	16	ポタージュ	21	さばのみそ煮	16	原宿ドッグ	18
10位	ナン	10	さつま汁・みそ汁	18	豚みそ	14	ふわっといちご	18